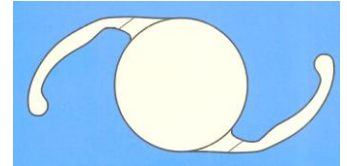


多焦点眼内レンズ -2つの距離にピントが合うレンズ-

眼内レンズとは...

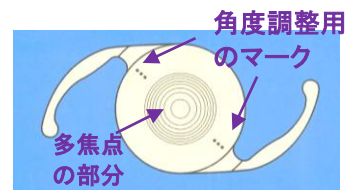
- ・ 白内障手術で濁った水晶体を取り除くと、視界の濁りがとれてきれいに見えるようになります。
- ・ しかし、見るものの位置によって自動的にピントを合わせる役割をしていた水晶体を取り除いてしまうので、手術後は、いつもピントは一定の距離に合った状態になります。そのため、いちばんよく見る距離に合わせて、眼の中にレンズを入れておきます。これが単焦点眼内レンズです。



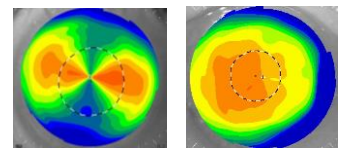
↑ 単焦点眼内レンズ

多焦点眼内レンズの特徴

- ・ 現在では、遠近両用メガネのように、眼内レンズでもピントを2ヶ所に合わせることができる多焦点眼内レンズがあります。ただし近くから遠くまで、どこにでもピントが合うわけではなく、手術でこのレンズを眼の中に入れても、より遠くをはっきり見たい時、より近くをはっきり見たい時にはメガネが必要になることがあります。
- ・ 強い乱視がある場合は、**乱視矯正効果もある多焦点眼内レンズ**もあります。これを**トーリック多焦点眼内レンズ**といいます。乱視矯正にはレンズを正確な角度で固定する必要がありますので、手術時には通常が多焦点レンズより位置合わせに手間がかかります。また、**術後に再度手術をしてレンズの角度を修正することもあります**。トーリック多焦点眼内レンズを選ぶかどうかは、術前に角膜の形状を調べるトポグラフィという検査をした上で、医師が判断します。
- ・ また、眼内レンズでは単焦点のものでも夜間の光がにじんで見える特徴がありますが、多焦点眼内レンズではその程度がより強いようです。



↑ トーリック多焦点眼内レンズ



↑ 強い乱視の角膜

↑ ほぼ乱視のない角膜

単焦点眼内レンズの見え方の一例

遠くが見えるようにすると手前はぼやける



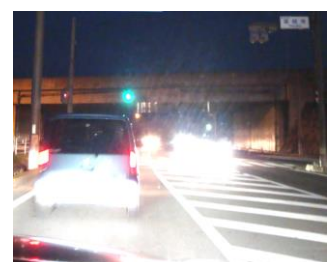
夜間のにじみは比較的少ない

多焦点眼内レンズの見え方の一例

遠くと近くにピントが合いやすくなる



夜間のにじみが強い

手術の適応

- ・ 多焦点眼内レンズは、すべての方に適しているわけではありません。
- ・ 白内障以外にも眼の病気がある方や、強度近視の方などは、このレンズの適応になりません。

費用について

- ・ 多焦点眼内レンズを用いる白内障手術は選定療養に該当します。
- ・ 通常の保険適用の白内障手術代に加えて、レンズの種類により20~30万円の自己負担が必要です。